

10.27
十一月の民農党の建議に対する日農連盟會に於ては、既に採決して来た。

其後同会は製鐵所共同研究會と提携して、製鐵所併合六カ月以内に於て地方の單獨政黨を組織する為に準備委員会を双方から十人選出したとアーチャー新聞は報じた。

同志會が此の裏切行為をして八幡支部は越年會合一派と相撲して八幡ト於ける三國体の共同幹部は底氈に蹶して、

労農党中央執行委員會に委員を上京せしむ。

十月廿四日開催の勞農党中央執行委員會にて、福岡支
支部聯合會の承認問題、支部組織に関する議論内諾及片て、
諒解を得て、始めて委員として 三浦泰二、河島真二、西馬及(?)
佐久間泰之爲、浅原健三君を上京せしむる事に決定し、廿五日廿
二日八時を起算上京した。十月廿一日召集の極大中央委員會に
於て、

労農黨と統合を宣す。

我が民農党は其の立党的精神及び第二回大會の運動方針、規
約に明示するが如く全国的階級的單一政黨の結成の爲、農業に死
立したる労農農民党に對しては積極的に之を支持し、福岡縣支
部聯合會の創立には他団体と協力一致して凡ケラ障害と困難と

お慶して之が結成に全力を尽し、八幡支部創立準備に對しても
又積極的本文が支持し努力今日に及んで、然るに當中失に於け
る左右両派の執事は日一日と數具体へ遠た去る十月廿四日の第
四回中央執行委員會に於ては左右両派の微失となり、遂に右翼
及中間派諸團體の離脱と成り立つて、一年間の努力は水
泡に期して労農農民党は農民聯合と製鐵労働力一部の残留する
形にて全く大衆的單一政黨としての實を失ふに至つた。

其に於て民農党は上京委員の帰宿を待つて、十月廿七日極大
執行委員會を召集して之に對する討伐策今後を遠動方針を決定
すると共に更に三十日拡大中央委員會を召集して慎重審議の結果
次の一如下決定を見つて至つた。

▲ 労働農民党と統合に決す。

労働農民党は左翼の極端なる進出に従つて處た右翼及び中
間派の諸團體が離脱退き結果残存せるは唯日本農民聯合
と製鐵労働力一部にて、且つ一政党としての二つの條件たる
階級的である事と、大家族であるべき、大衆を先へて大家
党たらぬ実を失い、從来の行動より見ても入り現実を無視
して理論たまう鷹太豪とナリは不思議なる等々其他各無産團體
の状勢、思想系統等なり批判して見ても、現在の日本の状
態よりはまだ労農農民党と不可混同とし且つ、も出資本主義の